

第6回 今治市総合都市交通体系調査検討委員会
- 委員会資料 -

総 合 交 通 体 系 編

平成 22 年 2 月 8 日

目 次

1 . 前回検討委員会での主な指摘事項と対応方針	1
2 . 協議路線の検討結果	2
2.1 交通現況	2
2.2 見直しに関する検討	6
3 . 将来交通量	10
3.1 平成 42 年整備路線道路網の将来交通量	10
3.2 中心部集約型都市構造に対応した将来交通量	17
4 . 新規路線の提案	26
4.1 新規路線提案の視点	26
4.2 新規提案路線	29
5 . 広報資料（案）	33
5.1 今後のスケジュール（予定）	33
5.2 広報用リーフレット（案）	33

1. 前回検討委員会での主な指摘事項と対応方針

前回（11.30（月））に実施した第5回検討委員会での主な指摘事項とそれへの対応方針を表に示す。

表 1.1.1 前回検討委員会での主な指摘事項と対応方針

主な指摘事項	今後の対応方針
波止浜停車場蛭子町線を存続してもらいたい。 朝夕は造船所関連の交通で混雑するのではないか。バス路線でもあり、整備の必要性は高いと考えられる。 また、地権者も少なく、都市計画制限の問題もほとんどない。	・現地の交通状況を調査し、再度検討の上、検討委員会に諮ることとする。
（都）今治日高線を廃止するのであれば、代替路線である国道 317 号に都市計画を振り替えるべきではないか。	・国道 317 号の片山交差点から玉川町方面間については、（都）今治日高線の廃止に伴い、代替路線として都市計画決定を行う方向性もある。現国道 317 号を都市計画道路とすることは、都市計画道路網としては意味のあることであるが、現在 2 車線道路として整備完了済みとなっている国道 317 号を、同じ 2 車線道路で都市計画決定することについては、整備計画上はあまり意味のないものと思われる。 したがって、本路線については、将来的な課題対応に向けて改良計画が検討される時期において、都市計画決定を行う方がより効率的であると考えられ、現時点においては都市計画決定を行わない方針とした。
廃止候補路線の中には、防災機能を備えた路線がいくつかある。 住民説明する際には、都市防災機能がどう代替されるかについて整理する必要がある。	・廃止候補路線は区間が短い路線が多いことから、廃止の影響はそれほど大きくないものと考えられる。 住民説明等に当たっては、都市防災機能の点も含めて整理したい。
（都）蒼社橋天保山線を廃止した場合、蒼社川の環境整備で不法占有の物件の立ち退きを進めているが、その跡地はどのように利用するのか。	・緑地、緑道の整備等も考えられる。 県と市で協力して跡地利用の方向について考えていきたい。
廃止候補区間の延長は、未着手路線のどの程度を占めるのか。	・廃止候補区間の延長は約 7.4km で、未着手区間約 29.7km の 25% を占めている。
計画道路網（案）の評価において、喜田村交差点北側断面の混雑度が現況の 1.63 から 0.38 に大幅に低下しているが、効果が大きすぎないか。	・道路網計画（案）の混雑度 0.38 は 0.83 の誤りであり、修正を行う。 なお、現況混雑度は道路交通センサスの値で、道路網計画（案）の値は将来交通量配分の値であり、その差の中には交通量配分の現況再現における乖離も含まれることから、その旨を記載する。